



料金後納

ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

学芸プログラム

通信 No. 4

2020年11-12月号

謹啓

新年早々、緊急事態宣言が発令され、さまざまに影響があることと存じます。昨年、世田谷パブリックシアターでは、世田谷区内の非営利組織の方々のご希望に応じて、地域のニーズや組織の抱える課題に取り組む演劇ワークショップ（以下、WS）「地域連携プログラム」を今まで以上に多く実施いたしました。

WSを実施したいとお声がけくださった皆さんからは、人と人が集う場所を失ってはならないという強い思いを受け取りました。さまざまな制限はある中でも、人と人とが協力してこれまで通りの社会生活を営んでいくための一助を今後も担っていければと思っています。

本年も何卒よろしくお願いいたします。

敬具

世田谷パブリックシアター 学芸事業の今後の予定（1月～2月）

12月31日時点

1月

- 11日(月・祝) 『ディ・イン・ザ・シアター～1111っぽ編～』①/②（劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS）
- 11日(月・祝) 演劇WSラボ「絵本読み聞かせクラブ」（演劇WS専門家育成）
- 13日(水) 下馬地区アートプロジェクト『だれでも表現クラブ・極楽』（高齢者の居場所づくり：月1回）
- 19日(火) かなりゴキゲンなWS巡回団@玉堤小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 21日(木) かなりゴキゲンなWS巡回団@玉堤小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 21日(木) 下馬地区アートプロジェクト『だれでも写真クラブ・極楽』（高齢者の居場所づくり：月1回）
- 23日(土) 演劇WSラボ「ディスタンスクラブ」（演劇WS専門家育成）
- 24日(日) 演劇WSラボ「ディスタンスクラブ」成果発表会（演劇WS専門家育成）
- 26日(火) かなりゴキゲンなWS巡回団@玉堤小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 27日(水) かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小学校2年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 28日(木) かなりゴキゲンなWS巡回団@玉堤小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 28日(木) かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小学校2年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 29日(金) 教育支援センター「ほっとすくえる城山」WS（心理的理由他で不登校状態の子ども支援：依頼毎4/4回目）
- 30日(土) 小学生のためのえんげきWS+発表会『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』（小学生の地域交流演劇WS：1/8回目）

2月

- 1日(月) かなりゴキゲンなWS巡回団@鳥山小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 3日(水) 下馬地区アートプロジェクト『だれでも表現クラブ・極楽』（高齢者の居場所づくり：月1回）
- 3日(水) かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小学校2年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 4日(木) かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小学校2年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 6日(土) 演劇WSラボ「絵本読み聞かせクラブ」（演劇WS専門家育成）
- 6日(土) 小学生のためのえんげきWS+発表会『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』（小学生の地域交流演劇WS：2/8回目）
- 8日(月) かなりゴキゲンなWS巡回団@鳥山小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 10日(水) かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小学校2年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 11日(月・祝) 演劇WSラボ「絵本読み聞かせクラブ」（演劇WS専門家育成）
- 11日(月・祝) 小学生のためのえんげきWS+発表会『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』（小学生の地域交流演劇WS：3/8回目）
- 12日(金) かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小学校2年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 14日(日) 演劇WSラボ「絵本読み聞かせクラブ」（演劇WS専門家育成）
- 15日(月) かなりゴキゲンなWS巡回団@鳥山小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 16日(火) かなりゴキゲンなWS巡回団@鳥山小学校1年生（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 18日(木) 『ディ・イン・ザ・シアター』①/②（劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS）
- 18日(木) 下馬地区アートプロジェクト『だれでも写真クラブ・極楽』（高齢者の居場所づくり：月1回）
- 20日(土) 小学生のためのえんげきWS+発表会『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』（小学生の地域交流演劇WS：4/8回目）
- 21日(日) 『世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部』①/②（中学生のための演劇WS）
- 22日(月) かなりゴキゲンなWS巡回団@鳥山小学校（区内小中学校訪問WS：依頼毎）
- 23日(火・祝) 小学生のためのえんげきWS+発表会『下馬のゆうじさんをめぐる冒険』（小学生の地域交流演劇WS：5/8回目）

【取材・企画に関するお問合せ】

世田谷パブリックシアター 学芸：恵志、九谷、塩原、石川

TEL 03-5432-1526 FAX 03-5432-1559

11月

新しく参加した仲間が、「一人でいると落ち込むけれど、ここにきたら何かがあるかも、と思ってきてみた」とおっしゃっていました。途中、会場近くで遊んでいた小学生の飛び入り参加もあり、「家では笑わないけど、ここに来ると笑えていいね」という声をたくさんいただきました。



4日（水）

- 下馬地区アートプロジェクト「だれでも表現クラブ・極楽」 地域連携
14:00～16:00 「秋の下馬双六」で遊ぼう会（進行役：花崎攝、長峰麻貴）
下馬地区は世田谷区の中でも高齢化率が高い地域で、高齢者の居場所づくりは、地域の優先的な課題となっています。そのため、世田谷区社会福祉協議会と連携し、誰でも気軽に立ち寄れる場づくりとして月1回「だれでも表現クラブ・極楽」を行っています。今回は、10月に創作したオリジナル双六で遊びながら、秋の思い出を語りました。

かなりゴキゲンなWS巡回団@ほっとスクール城山 地域連携
（進行役：青山公美嘉）

ほっとスクール（教育支援センター）では、心理的理由などにより不登校の状態にある児童・生徒が、体験活動やスポーツなどの小集団生活を通して、社会性や協調性を育み自立心を養い、学校生活へ復帰することや自分らしい進路を実現することをめざしています（世田谷区HPより抜粋）。世田谷パブリックシアターは2008年度から毎年、ほっとスクールに伺っています。年間を通じ、人との交流や表現を楽しむ機会としています。

12日（木）

- かなりゴキゲンなWS巡回団@芦花中学校2年 地域連携
（進行役：すずきこーた）
教科「日本語」の教科書改訂に伴い、世田谷パブリックシアターは中学2年の単元「演劇をつかって考える『子どもの権利条約について』」を執筆しています。今年度初の中学校訪問となった今回は、最初に「権利とは何か？」を共有した後、「第2条 差別の禁止」「第16条 プライバシー・名誉は守られる」が守られていない場面を身体で表現しました。さらに自分が一番大切だと思う条約について話し合いながら、演劇を創りました。普段とは異なる切り口で仲間と表現を交わすきっかけになりました。

13日（金）

○ 演劇WSラボ その他
18:00～21:00 ディスタンスクラブ

19日（木）

- 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」 地域連携
14:00～16:00 自分のテーマ・被写体を見つけましょう（進行役：金川晋吾）
「だれでも表現クラブ・極楽」での好評を得て、高齢男性も足を運びやすいように「写真」を扱う「だれでも写真クラブ・極楽」を初めて開催しました。写真を持ち寄っていただき、写真にまつわるエピソードを話してもらいました。



取り壊される前の下馬団地の風景や、年賀状用に毎年撮影された「橋」など、下馬地区の歴史を物語っていました。それぞれの写真への思いは、この時代を人々がどう生きてきたのかという貴重な記録を垣間見る機会となり、下馬地区ならではの交流が生まれました。

22日（日）

- 『「今」を考えてカタチにする 学生のための演劇WS』 劇場 レポート 裏面へ
▶22日10:00～12:00 自分の「今」を言葉にする（進行役：花崎攝・中村麻美）
▶23日10:00～12:00 「今」考えていることをラップで表現（進行役：花崎攝・中村麻美・FUNI）

25日（水）

- かなりゴキゲンなWS巡回団@ほっとスクール城山 地域連携
（進行役：青山公美嘉）

26日（木）

- かなりゴキゲンなWS巡回団@芦花中学校2年 地域連携
（進行役：すずきこーた）

27日（金）

- 『「今」を考えてカタチにする 学生のための演劇WS』 劇場
18:00～21:00 身体による表現に挑戦（進行役：花崎攝・中村麻美）

28日（土）

- デイ・イン・ザ・シアター ～はじめの一步11月の向寒編～ 劇場
▶10:00～12:00 誰とどこで何を食いたい？（進行役：柏木陽）
▶14:00～16:00 ○○シールド作り（進行役：大西由紀子）

弦巻小学校PTA演劇WS（低学年） 地域連携
14:00～16:00 みんなで物語の主人公になろう！（進行役：青山公美嘉）
PTAは、任意加入にもかかわらず加入を強いられることや、役員決めの問題が取り上げられています。弦巻小学校では、そうしたPTAのイメージを払拭し、本当に親と子どもたちにとって役立つ組織として、企画を行いたいと依頼下さいました。ご相談の上、自粛生活でこわばった親子や保護者同士の関係をほぐすために、対象をかえて計4回の演劇WSを実施することになりました。「親子、保護者同士、他のお子さんとの関係づくりを、演劇WSという身体を伴う活動の中で構築することができた。この安心感を創り出すことがPTAのこれからの役割だとヒントをもらった」という声をいただきました。



29日（日）

- 演劇WSラボ その他
13:00～17:00 絵本読み聞かせクラブ

12月

1日（火）

- 演劇WSラボ その他
18:00～21:00 ディスタンスクラブ

2日（水）

- 下馬地区アートプロジェクト「だれでも表現クラブ・極楽」 地域連携
14:00～16:00 歳の暮れ！オリジナル熊手づくり（進行役：花崎攝、長峰麻貴）

5日（土）

- 『「今」を考えてカタチにする 学生のための演劇WS』 劇場
10:00～12:00 ある出来事を分解して考察し演劇にする（進行役：花崎攝・中村麻美）

世田谷パブリックシアター演劇部中学生の部 劇場

- ▶10:00～11:30 人と人が「背中合わせ」になる状況の演劇をつくる（進行役：有吉宣人）
- ▶14:00～15:30 詩や短歌から演劇をつくる（進行役：有吉宣人）

6日（日）

- 『「今」を考えてカタチにする 学生のための演劇WS』 劇場
10:00～12:00 発表（進行役：花崎攝・中村麻美・FUNI）

7日（月）

- ダンス食堂 劇場
19:00～21:00 メニュー19 康本雅子 ワークショップ

演劇WSラボ その他
18:00～21:00 絵本読み聞かせクラブ

12日（土）

- デイ・イン・ザ・シアター ～はじめの一步12月の寒椿編～ 劇場
▶14:30～16:30 歌謡曲タイトルから演劇をつくらう！（進行役：富永圭一）
▶14:00～16:00 誰かがどこかにやってきた！（進行役：とみやまあゆみ）

弦巻小学校PTA演劇WS（高学年） 地域連携
14:00～16:00 世界でたったひとつの「ものがたり」みんなで創ろう！（進行役：青山公美嘉）



今の自分の気分に合った写真や言葉を雑誌から切り抜いてコラージュをつくり、そのコラージュの物語を、大人チーム子どもチームそれぞれ演劇にしました。演劇づくりは大人の方が得意だったり、上手にできるものでもありません。同じ課題にそれぞれ取り組み組むことで、大人は子どもの持っている力をあらためて発見し、子どももまた親や先生以外の大人たちのさまざまな表情を発見。協働作業を楽しむきっかけとなりました。

13日（日）

- 三茶にサンタがやってくる！2020 地域連携
新型コロナウイルス感染症の影響で、経済的に困りの世田谷区内の子育て家庭を支援するために、区内組織が協力してチャリティイベントを企画しました。当日は三軒茶屋に多くのサンタが集まり、子どもたちと交流をしました。集まったご寄付は全額「せたがやこどもフードパントリー」へ寄付しました。

14日（月）

- 演劇WSラボ その他
13:00～15:00 ディスタンスクラブ

16日（水）

- かなりゴキゲンなWS巡回団@ほっとスクール城山 地域連携
（進行役：青山公美嘉）

17日（木）

- かなりゴキゲンなWS巡回団@芦花中学校2年 地域連携
（進行役：すずきこーた）

下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」 地域連携
14:00～16:00 写真をプリントしてみましょう（進行役：金川晋吾）

19日（土）

- 弦巻小学校PTA演劇WS（1年生対象） 地域連携
14:00～16:00 「1年生応援プロジェクト」子どもプログラム（進行役：有吉宣人、田崎葵）

22日（火）

- 下馬地区アートプロジェクト「子ども表現クラブ・極楽」 地域連携
16:00～17:30 サンタになってパーティーをお届け！（進行役：大道朋奈）

23日（水）

- 地域にお住まいの方たちの多世代交流のきっかけになることを目指し、地域の子どもたちが「クリスマス劇」を作って、高齢者の方たちに発表する企画を行いました。子どもたちは普段出会うことのない高齢者たちに出会い、高齢者にとっては子どもたちから元気をもらうような会になりました。

レポート 裏面へ



26日（土）

- 演劇WSラボ その他
18:00～21:00 絵本読み聞かせクラブ

28日（月）

- 演劇WSラボ その他
18:00～21:00 ディスタンスクラブ



『「今」を考えてカタチにする 学生のための演劇 WS』

11月22日(日)～12月6日(日)(全5回)

(進行役：花崎攝・中村麻美／FUNI)

新型コロナウイルスにより、学生生活にさまざまな影響を受けている現役学生と対話をかさね、今、自分が抱えているモヤモヤやイライラを演劇やラップという「カタチ」で表現する試みを行いました。留学生、地方出身者など、多様なバックグラウンドをもつ学生たちが集まり、全5回のWSを経て、自分の「今」を多角的に捉え、考える機会となりました。

はじめましての1日目。場と人に慣れるためのシアターゲームや自己紹介を行った後、コロナ禍で思い浮かぶワードを出し合い、言葉で「今」をマッピング。2日目は、ラッパーFUNIさんと一緒に、コロナ禍で感じているモヤモヤやイライラをラップに込めて自分の「今」の気持ちを切り取りました。3日目は、1日目に行ったマッピングのできたワード【Survive】【ワクチン】【対話】を身体で表現することに挑戦。言葉だけでは見えてこなかった、学生たちの「今」に対する姿勢（皮肉、苦しみ、もがき、希望など）が立体的に表れ、身体表現の可能性を知る機会になりました。4日目は、個人が体験した出来事を、ひとつひとつ分解し考察していくことで、深く物事を理解し表現に立ち上げる「Rainbow of Desire」を行いました。最終日の5日目。このWSを通して、「カタチ」にしてきた自分たちの「今」を演劇に立ち上げ一連のプログラムにして内部で発表しました。

発表したラップは、録音し、公開しています。学生の参加者と、劇場スタッフも含めたその場にいる全員の「今」が詰まったオリジナルラップ、ぜひフルバージョンで聞いてみてください。

▼ラップのフルバージョンはこちら▼

<https://soundcloud.com/yuiblxldj6pb/k9mbz0qnogna/s-A2zRRsCiCmS>



発表プログラム一覧

1. 何が殺した（地方社会におけるコロナの影響）
2. コロナ境駅（友人関係とコロナ禍における人間関係）
3. 親のしがらみ（安定と不安定の狭間で揺れる将来の夢）
4. 今の自分、これからの自分（不確定さへの恐れと、こうあるべきだという人物像からの乖離）
5. 私はまだうまれてない（がんじがらめに絡まる、甘えや人の目による不安からの孵化）
6. 友達の狭間（コロナ禍における自分の立ち位置）
7. 「今」を考えてカタチにしたラップ

下馬地区アートプロジェクト「子ども表現クラブ・極楽」
『サンタになってパーティをお届け!』12月22日(火)・23日(水)・24日(木) 16時～17時30分 (全3回)
(進行役：大道朋奈)

2019年より、都営下馬団地の集会所をお借りして、下馬地区にお住いの主に高齢者の方々に向けて「下馬地区アートプロジェクト」を実施しています。「表現」と「写真」をテーマにした2つのプログラムを、それぞれ月1回行っていますが、地区内の掲示板でご案内したりする中で、徐々にご近所の方たちにも周知されるようになってきました。11月には、近くで遊んでいた小学生が、あまりにも楽しそうな高齢者たちの歓声に呼び寄せられて、飛び入りで参加をしてくれました。

その時に、高齢者の方たちが孫よりも若い子どもたちとの出会いを、とても喜んでくださっていたために、ならば子どもたちの放課後の時間と合わせて、下馬地区のさまざまな年代が関わり合うような取り組みができないか、と考え今回の企画が立ち上がりました。

ちょうどクリスマスが近づいていたこともあり、テーマは「クリスマス」に。子どもたちにとっては、与えて貰うことが多いクリスマスですが、今回は、自分の得意なことを生かす「サンタ」になって、与えること、おもてなしをすることを考えてもらいました。



▲3日目：[Survive][ワクチン][対話]を身体で表現



▲5日目：「コロナ境駅」の一場面

私たちは常日頃から、思考や創作の先に答えや正解、評価を求めてしまいがちです。今回のWSでは、同じ世代の参加者同士が対話を重ね、思いを共有することで、自覚的に自身の「今」を認識し可視化することのみを目的としました。リモート授業ばかりだった学生たちにとって、対面での人との出会いは久しぶりで、初日は緊張している様子でした。しかし、活動を積み重ねていく中で、親しさとともに対話の深度が深まっていきました。自分の言葉を聞き、心を傾けてくれる人がいるというだけで、人は少し先の日々を想像する楽しみを持つことができる。そんなことを、学生たちの姿を通して、大人である私たちが気づかせてもらったWSになりました。

制作
コメント

子どもたちは、デジタル分別サンタ、バイオリンサンタ、早起きサンタ、偵察サンタ、絵描きサンタリーダー、水まわりピカピカサンタ、それぞれの得意なサンタになって、個性に合わせた衣装も作り、最終日に地域の皆さんにご披露しました。

発表の後は、集まった皆さんで、簡単なシアターゲームを。工夫をしながら、身体をつかって「クリスマス」の形（ケーキやチキンなど）を創りました。お招きした地域の皆さんからは「子どもたちからパワーをもらった」「来年もぜひやりたい」という声をいただき、世代を超えたクリスマスイブの交流を楽しむことができました。

